

## 社会貢献活動

6-4

### 朝日インテックの社会貢献活動

#### 社会貢献に対する考え方

当社グループのサステナビリティとは、ステークホルダーとの信頼関係を構築すること、価値創造プロセス（事業の推進と基盤の強化の好循環）に取り組み、企業理念を実践すること、それにより「ASAHI ブランド」（コーポレートブランド）を確立することと考えています。

当社グループにとって地域社会・グローバル社会は大切なステークホルダーです。当社グループは社会の一員として、いつの時代も地域・社会の発展を支えることにより、ステークホルダーとの信頼関係を構築してまいります。

#### スポーツを通じた社会貢献

当社グループは、スポーツ振興による人々のQOL向上や地域の活性化など、広く社会に貢献する取り組みを進めています。また、世界で活躍する選手を応援することにより、当社グループの組織風土の活性化へもつなげています。

#### プロゴルファーとの当社所属選手契約・スポンサー契約締結

当社グループはCSR活動の一環として、アスリートを支援するスポンサーシップに取り組んでいます。

地元名古屋出身の女子プロゴルファー服部真タブロと当社所属選手契約を締結、2016年にプロテストを2位で合格した岐阜

県出身の小野祐夢プロとスポンサー契約を締結しています。

地元出身のアスリートの支援を通じて、地域の活性化を目指し、地域への貢献につなげてまいりたいと考えています。



服部真タブロ



小野祐夢プロ

#### なでしこリーグ女子サッカーチーム/朝日インテック・ラブブリッジ名古屋とのネーミングライツパートナー契約

当社は2022年2月に、なでしこリーグに所属する名古屋市的女子サッカーチーム「朝日インテック・ラブブリッジ名古屋」とネーミングライツパートナー契約を結び、活動の支援を行っています。また、チーム所属選手を当社社員として雇用し、選手としての活動を支援しています。

朝日インテック・ラブブリッジ名古屋は、1995年に名古屋グランパスジュニアレディースとしてチームが発足し、1998年に名古屋FCレディースへ名称変更、2004年に愛知県リー

グから東海リーグに昇格しました。2017年にNGUラブブリッジ名古屋に名称変更し、2014年に日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）3部チャレンジリーグに昇格、さらに2021年には日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）1部に昇格、2022年に朝日インテック・ラブブリッジ名古屋に名称変更し、上位を目指して活動中です。



垣内愛菜選手



齋藤久瑠美選手



神谷千菜選手



三浦桃選手

LOVELEDGE  
チームエンブレム

## 社会貢献活動

6-4

### プロサッカー選手 吉田麻也選手を広告キャラクターに起用



当社は2018年より吉田麻也選手を広告キャラクターとして起用しています。

一般社団法人日本プロサッカー選手会会長・FIFAワールドカップカタール2022日本代表で、キャプテンとして活躍し、世界的評価の高い

吉田選手を当社の広告に起用することで、日本から世界へ低侵襲治療の普及を目指す当社の理念をより多くの方にご理解いただける機会が広がることを期待しています。

また、世界で活躍する吉田選手の姿は、世界中の人々の共感を呼ぶとともに、多くの人にとって励みになると考えています。吉田選手は愛知県豊田市近辺にて中学・高校の学生時代を過ごし、名古屋グランパスジュニアユースを経て、2009年まで名古屋グランパスに所属するなど、当社の所在地である愛知県との深い縁もあります。今後、吉田選手を通して当社の理念や企業情報をお伝えしてまいりますので、ご期待ください。

### 地域社会への貢献

#### 瀬戸市子どもの今・未来応援基金への寄付

当社は2021年より毎年、「瀬戸市子どもの今・未来応援基金」(愛知県瀬戸市)へ寄付を行っています。「瀬戸市子どもの今・未来応援基金」とは、一人一人の子どもおよび若者が、切れ目のない支援を受けることで、それぞれの夢または自立に向かって健やかに育つことができるための施策を推進するため、瀬戸市が創設したものです。

寄付金も、子育てに困難を抱える家庭に対する紙おむつや食品等の生活必需品の購入費用、子どもの送迎や預かりにかかる費用、若者の学びの継続への支援などに役立てられます。当社はこの瀬戸市の取り組みに対し、継続的な支援を行ってまいります。



写真は2021年11月の贈呈式

### 地域情報誌『INTE-LLIGENCE』発行

当社は、2022年1月より瀬戸市周辺の情報を紹介する地域情報誌『INTE-LLIGENCE』を発行しています。本情報誌は、瀬戸市で働き、瀬戸市近郊に住んでいる当社社員だからこそ知っているディープな情報を中心にピックアップし、「瀬戸の魅力を再発見す

る」ことをコンセプトに、微力ながら地域活性化の一助となるようにとの想いで制作しています。

本誌は瀬戸市公共施設、瀬戸市内の金融機関、鉄道各駅(尾張瀬戸駅、新瀬戸駅、瀬戸市駅、大曾根駅、栄町駅)などに設置していただいています。

引き続き半年に1回の発行を予定しており、地域の発展に貢献してまいります。



## 社会貢献活動

6-4

### SDGs IDEA FORUM

#### (主催：名古屋市、名古屋市立大学)の支援

当社は、SDGsへの取り組みの一環として、名古屋市および名古屋市立大学が主催するSDGs IDEA FORUMへの支援を行っています。SDGs IDEA FORUMは、名古屋市内にキャンパスを置く大学・短期大学の大学生から柔軟かつ革新的な発想を募集し、名古屋市が抱える地域課題の解決を目指すプロジェクトで、2023年度も昨年に引き続き当社取締役が審査員を務めました。

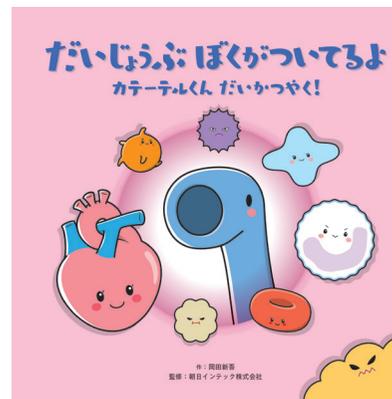
当社は今後もSDGsについての取り組みを主体的に行うことに加え、このような取り組みへの支援を行うことで地域社会に貢献してまいります。



### 絵本『だいじょうぶ ぼくがついてるよ カテーテルくん だいかつやく!』寄贈・販売

当社は、設立45周年記念事業の一環として、2022年2月にカテーテル治療を題材にした絵本『だいじょうぶ ぼくがついてるよ カテーテルくん だいかつやく!』を発行し、下記寄贈先に寄贈いたしました。また、同年4月より販売を開始しており、売上の一部は寄付する予定としています。

本書は低侵襲治療の普及を目的として、より多くのお子様にカテーテル治療とはどのようなものかを知っていただくために制作いたしました。また、カテーテル治療を受けられる方やそのご家族にもお読みいただくことで、カテーテル治療が患者様にとって負担の少ないものであることをご理解いただき、



精神的ケアにもお役立ていただけるのではないかと考えています。

なお、本書の原画は当社グループのフィカス株式会社(※)の社員が担当しています。

※フィカス株式会社は、企業などへの就職が困難な障がいのある方々に就労機会を提供し、生産活動などを通じて、その知識や能力の向上に必要な訓練などを行う「就労継続支援(A型)」の認定を受けた企業です。

#### 【寄贈先】

全国の大学病院、主要病院、東海3県の幼稚園・保育園・こども園、東海3県の公立図書館、愛知県庁、愛知県の市町村役場 等

【作】 岡田新吾

【監修】 朝日インテック株式会社

【原画制作】 フィカス株式会社

【企画・制作】 株式会社CBCクリエイション

【ページ数】 28ページ

【ISBN】 978-4-86693-585-0

【定価】 1,320円(本体1,200円+税)

## 社会貢献活動

6-4

## 朝日インテック・ラブブリッジ名古屋との環境推進活動

## ●清掃活動

当社の環境推進活動の一環として、2023プレナスなでしこリーグ1部開幕に向け、ホームグラウンドであるCSアセット港サッカー場の周辺にて、当社社員と朝日インテック・ラブブリッジ名古屋の選手およびスタッフ約40名で清掃活動を行いました。



## ●瀬戸市花と緑のまちづくり推進連絡協議会との植栽活動

瀬戸市で持続可能な花と緑のまちづくりを実現することを目的に活動をしている、瀬戸市花と緑のまちづくり推進連絡協議会と、朝日インテック・ラブブリッジ名古屋の選手らと、2022プレナスなでしこリーグ1部でのリーグ戦勝利数（10勝）にちなみ10ケース・280株のマリーゴールドを瀬戸川河川敷に植栽いたしました。

当社は、朝日インテック・ラブブリッジ名古屋と共に環境推進活動を通し、継続的に地域社会に貢献をしてまいります。



## 旧瀬戸小学校跡地にグラウンド建設

当社は旧瀬戸市立古瀬戸小学校跡地にて、朝日インテック・ラブブリッジ名古屋の練習グラウンドを整備いたします。完成は、2024年6月を予定しています。

当施設は、朝日インテック・ラブブリッジ名古屋の練習拠点とするほか、当社社員の福利厚生施設としての活用および地域の皆様に貸し出しすることにより、地域におけるスポーツ振興を行ってまいります。また、当施設を拠点とし、瀬戸市と協力の上、スポーツを通じたさまざまな地域貢献活動を行っていく予定です。



グラウンド完成イメージ図